

令和2年度 学力向上に係る効果的な取組事例

# 「授業支援アプリを活用した学力向上のための授業改善」

越谷市教育委員会

いきいきとだれもが夢に  
向かって輝く越谷教育プラン

施策の方向1

自立して生きていくための基礎となる確かな学力を育む

第2期越谷市教育振興基本計画では「生きる力を育む学校教育を進める」を基本目標とし、「自立して生きていくための基礎となる確かな学力を育む」ことを施策の方向としています。本市では、時代に即した教育等を推進し、子どもたち一人ひとりに確かな学力を身に付けるため、ICTを活用した教育の充実に取り組んでいます。

また、越谷市教育委員会では、教育振興基本計画の方向性をふまえ、ICT機器を活用したよりわかりやすい授業のため、ICTの効果的な活用のための校内研修を支援しています。

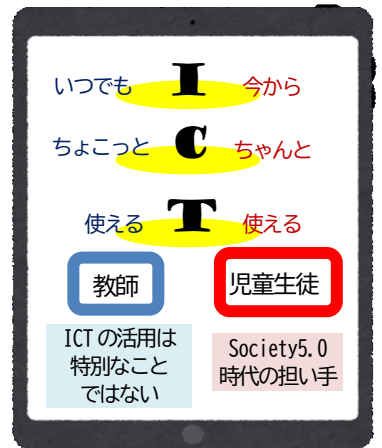
## ICTを活用した授業改善によって児童生徒の資質・能力を育成する

本市では平成30年度からタブレット端末を導入し、ICTを活用した教育の充実を図っております。児童生徒には『(I)今から(C)ちゃんと(T)使える』を、教師は『(I)いつでも(C)ちょこっと(T)使える』を合言葉に、ICT機器を活用した授業展開の工夫改善を行っております。

### ①主体的・対話的で深い学びの授業づくりに活用できる「授業支援アプリ」



本市では市内全児童生徒分のIDを取得し、個別で使える「授業支援アプリ」を導入しております。主体的・対話的で深い学びのための授業改善の一つのツールとして、タブレット端末を活用し、児童生徒の資質・能力の育成に取り組んでいます。



### 「授業支援アプリ」の活用法

授業支援アプリで **カード** を作り、教師と児童生徒や児童生徒同士でカードのやり取りをする。

自分の考え

動画

Web ページ

写真

地図

音声

ファイル

様々な情報を  
カードにすることが  
できます。

カードを教師に提出したり、子ども同士で送ったりすることができ、効果的な学び合いの場をつくることができます。

ノートの写真を撮り、よい考えを共有する。(小・算数)

自分の考えを打ち込み、提出する(中・社会)

友達の意見から、考えを広げたり深めたりする。

作ったカードは蓄積されて、**eポートフォリオ**になります。  
※タブレット端末は6年間持ち上がり

## 時間と空間を越えた学びを支援する



## ② 「授業支援アプリを活用した授業改善」のための研修会

11月に学力向上推進連絡協議会を開催し、市内全小中学校の学力向上推進担当教員を対象に授業支援アプリを活用した「特別の教科 道徳」の模擬授業を行いました。授業支援アプリを使いながら意見を整理し、多角的・多面的に考える授業展開の体験を通して主体的・対話的で深い学びの授業づくりのための工夫改善を協議しました。



座標軸で意見を整理する



自分の考えを打ち込み、グループに送る



グループで多様な考えを共有する



### 越谷市立小中学校教職員の実践事例を集めた

## ③ 「ICT活用事例ハンドブック」でICT機器の活用を促進

**ICT活用事例ハンドブック Vol.8**

第2期越谷市教育振興基本計画  
基本目標1 生きる力を育む学校教育を進める  
施策の方向1 自立して生きていくための基礎となる  
確かな学力を育む  
時代に応じた学校教育の推進

ICTの強み

- ①カスタマイズが簡単  
何度でも試行錯誤・チャレンジできる！  
情報の収集・整理・分析・まとめ・発表
- ②時間的・空間的制約を超える  
時間や距離を問わず、思考が見える！  
データの蓄積・送受信  
一思考の可視化、学習過程の記録
- ③双方向性・共有性（発信・受信）  
大勢の考えを瞬時に共有できる！  
インタラクティブ  
遠隔授業

ICTが大きく貢献できること

- 深い学び、対話的な学び、主体的な学びの実現
- 個々の能力や特性に応じた学びの実現
- 地理的隔地に左右されない教育の質の確保

確かな学力育成にICTができること

**学力を上げる授業の7つのポイント**

- ①本時のめあてやねらいを明確に示す
- ②ノート指導の充実を図る
- ③自分の考えの根拠を明確にさせる
- ④話し合いの活動を意図的に設定する
- ⑤自分の考えを発表する機会を多く与える
- ⑥探究的な学習活動を多く取り入れる
- ⑦めあてやねらいに正対した振り返りを行う

よりわかりやすい授業づくり  
7つのポイントの充実！ICTでできることがあります

越谷市教育委員会

授業におけるICT機器の活用事例をA5判の携帯しやすいブックレットにまとめた「ICT活用事例ハンドブック」を市内全教員に配付。市内の教職員の事例を基に作成したハンドブックは市内の先生たちと共にアップデートしています。

### ICTを活用したよりわかりやすい授業を目指して

**タブレット端末(iPad)の利用でできること**

11

- 様々なアプリやデジタル教科書による学習効果の向上
- 論理的思考力を育むためのプログラミング教育
- 手軽に持ち運び、どこでも写真や動画の撮影、資料の確認が可能
- グループで意見を共有し、主体的・対話的で深い学びを実践する

- ・分析
- ・情報収集
- ・整理
- ・まとめ
- ・発表

## ④ 成果と課題

成果：市内でタブレット端末を活用した実践事例が増え、ICTを活用した主体的・対話的で深い学びの授業改善が進んできた。多くの実践事例を参考にすることで、次年度からの児童生徒一人一台端末を活用した授業への移行も円滑に進められることが期待できる。

成果：学習支援アプリを使った授業では、密集と密接を避けつつ、子ども同士の考えをカードで共有することができるため、新しい生活様式下での主体的・対話的で深い学びの授業をより充実させることができるようになった。

課題：タブレット端末と学習支援アプリの操作に不慣れな教員への支援やより多くの実践事例を蓄積していくことがこれから重要となる。

課題：学習支援アプリ使用時のデータ容量等に係る通信速度への対応がこれからの課題となる。